

2020/09/10 統計関連学会連合大会

東京大学社会科学研究所 附属 社会調査・データアーカイブ研究センターの データインフラ整備の現状と課題

三輪 哲
(東京大学社会科学研究所)



Center for Social Research and Data Archives,
Institute of Social Science, The University of Tokyo



Social Science Japan Data Archive

CSRDAの4つの研究分野

東京大学社会科学研究所
附属社会調査・データアーカイブ研究センター

Center for Social Research and Data Archives
Institute of Social Science, The University of Tokyo



SSJデータアーカイブ設置の目的

- › 社会調査データの散逸を防ぐ
 - ・SPSS形式の他、テキストデータで保存
 - ・長期保存のためのバックアップ体制
- › 社会調査データを学術的共有財産とする
 - ・調査回答者や企業・事業所などが特定される可能性のある場合は、トップコーディングやグルーピングなどによる秘匿処理
- › 分析の再現性を担保する
 - ・国際学術誌では必須になりつつある

センター10周年を機とした変化

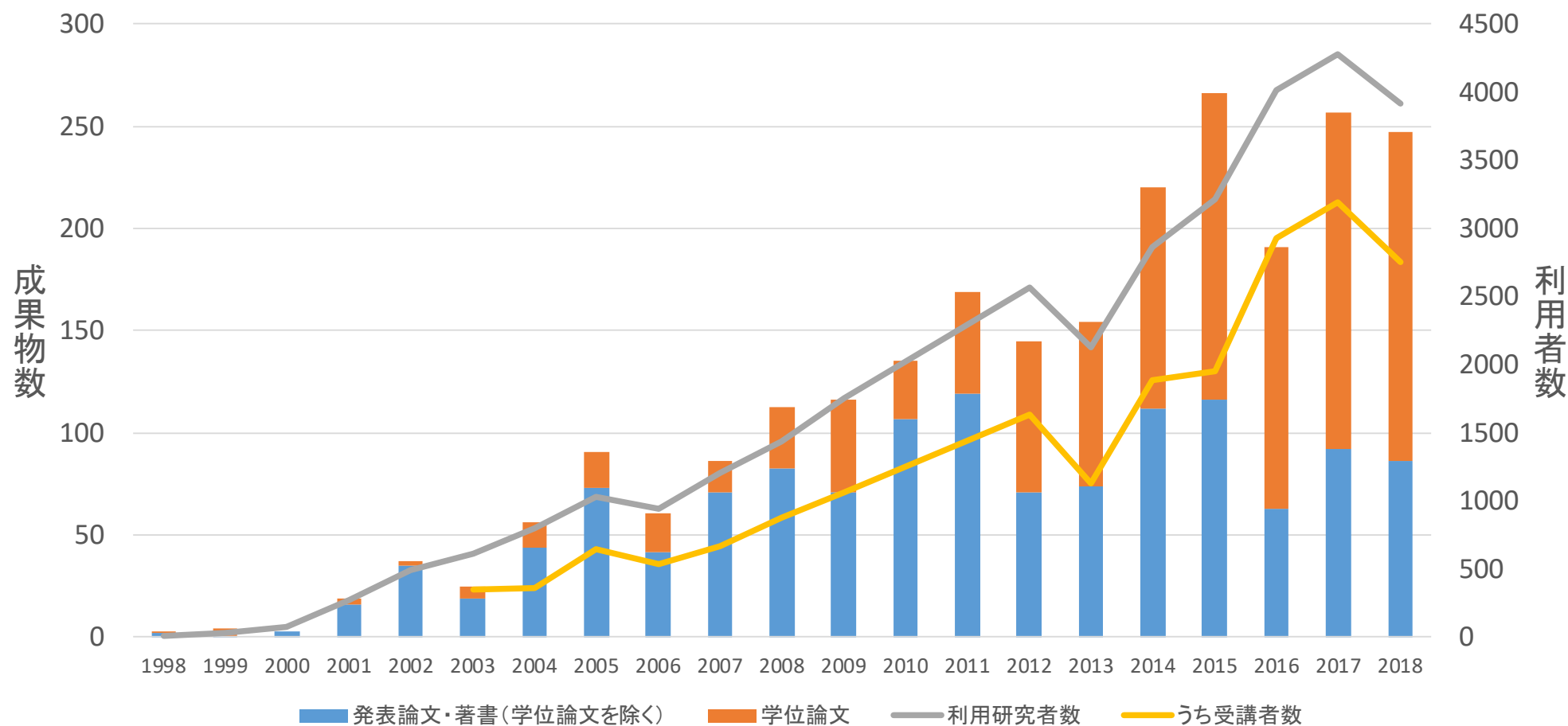
- › 2005年度からリモート集計の運用開始
- › 2006年度から任期付で運用していた助教授ポストを任期なしに
- › 「調査基盤分野」「社会調査分野」「計量社会分野」の3分野で構成
- › 社研パネル調査(JLPS)の開始（2006年度）
- › 教授・助教授（4名）、助手（1名）、特任専門職員（1名）、事務補佐員（2名）、RA（2名）、科研費による雇用（3名）

改組から共同利用・共同研究拠点へ

- › 2010年度からの全国共同利用・共同研究拠点の認定をにらみ、前年2009年度に社会調査・データアーカイブ研究センターへ改組
- › 「調査基盤分野」「社会調査分野」「計量社会分野」「国際調査研究分野」の4分野
- › 個票データの寄託・提供、社会調査の実施、二次分析研究会・計量セミナーの開催、国際的ネットワークの構築、をより組織的に運営することとなった

SSJデータアーカイブの研究・教育利用

利用者数・成果物数の推移



2013年度はシステム移行のため申請停止期間を設けた

共同利用・共同研究拠点の認定更新（2016）

- › ①データアーカイブの維持・拡大、②海外への情報発信と協力関係の強化、③共同研究の拡大、④学部・大学院教育への貢献、を通じて人材を育成し、実証的な社会科学研究の発展に貢献する
- › より積極的な成果の発信が求められている
- › 教授・准教授 4 名（専任） 5 名（兼任）、助教 5 名、データアーカイブマネージャー 1 名、特任専門職員 1 名、特任研究員 1 名、学術支援専門職員 4 名、学術支援職員 2 名

公開データ

- › これまでに150以上の機関・組織・研究者（代表者）から寄託をうけた
- › 2000以上のデータセットを公開・提供
- › JLPS（働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査）
- › JGSS（日本版総合的社会調査）
- › JES（投票行動の全国的・時系列的調査研究）
- › SSM（社会階層と社会移動全国調査）
- › NFRJ（全国家族調査）
- › 全国就業実態パネル調査 など



CSRDAにおけるデータインフラ委託事業

＞ 業務項目

1. データアーカイブのシステム強化

- ＞ さまざまなWebシステムの開発
- ＞ セキュリティの強化
- ＞ メタデータの整備

2. データ・書類の英語化と国際化対応

- ＞ 各種書類やメタデータ、調査票の英語化
- ＞ 国際認証取得に向けての内部文書の整理と英語化

3. 運営支援

- ＞ 予算執行の計画と管理
- ＞ 各種イベントの企画・調整・実施

東京大学社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センターにおけるさまざまなシステム

› SSJDA Directシステム

- データ情報・寄託者情報・利用者情報の一元的管理
- 利用手続きや、承認手続き、データのダウンロード提供に使用

› リモート集計システム

- NESSTARというシステムを用い、メタデータ閲覧や、オンライン分析に使用

› EDO (Easy DDI Organizer)

- 独自に開発したメタデータ国際標準規格DDI (Data Documentation Initiative) の編集用アプリケーション

CSRDAトップページ

<https://csrda.iss.u-tokyo.ac.jp/>

社会調査・データアーカイブ共同利用・共同研究拠点

東京大学 社会科学研究所
附属社会調査・データアーカイブ研究センター

CSRDA

SSJDA
Social Science Japan Data Archive

HOME

お問い合わせ

サイト内検索

検索

ENGLISH

センターのパンフレットのダウンロード(PDF)

センターについて

SSJDAについて

データの寄託

データの利用

社研パネル調査

共同調査と共同研究

二次分析研究会

計量分析セミナー

国際連携

Center for Social Research and Data Archives

探す

利用する
SSJDA Direct

分析する
Nesstar

学ぶ

寄託する

【SSJDAのデータを初めてご利用される方】は[こちら](#)。

センターからのお知らせ

SSJDAデータ公開情報

「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査2020(オンライン特別調査)」について

【重要】SSJDAでは、2020年7月30日(土)から2020年8月19日(水)まで利用申請受付を停止いたします。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、キャンパスにおける活動が制限されております。それにともなって、各種手続き等について通常よりも対応に日数がかかりますことをご承知ください。活動制限が緩和されましたら順次対応いたします。なお、郵送によるデータ提供はしばらく控えさせていただきます。ご不便をおかけしますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

2020-07-22

1303「団体の基礎構造に関する調査(第3次)、2012」(筑波大学人文社会国際比較研究機構(ICR))を公開しました。

1311「団地居住者生活実態調査、1965」(東京大学社会科学研究所)を公開しました。

1331「神奈川県における民生基礎調査(ボーダー・ライン層調査)、1961」(東京大学社会科学研究所)を公開しました。

2020-07-16

1296「niji VOICE 2018(LGBTと職場に関する調査)、2018」(特定非営利活動法人虹色ダイバーシティ 国際基督教大学ジェンダー研究センター)を公開しました。

1300「地域元気指数調査、2017」(アール・ビー・アイ)を公開しました。

ICPSR 国内利用
協議会のご案内

社研メールニュースの
ご案内

お問い合わせ | サイトマップ | プライバシーポリシー | センター内スタッフ専用ページ

東京大学
The University of Tokyo

ISS
東京大学
社会科学研究所

Copyright 2013 © CSRDA committee All Rights Reserved.

データを探す

データ検索

概要全文 :	調査名 :
寄託者名 :	調査年 :
	~
トピック (詳細は こちら) :	調査対象の単位 (詳細は こちら) :
指定なし	指定なし
教育目的利用	
指定なし	
表示順	
調査番号(昇順)	
検 索	内容をクリア

* 調査名をクリックしますと、データの概要が表示されます

<< < 1 2 3 4 5 6 7 > >> 全1415件

- データ一覧 -				
調査番号	調査名	寄託者 (寄託時名称)	トピック	Nesstar
0001	新規卒業者(中卒)労働市場調査, 1953	東京大学社会科学研究所	雇用・労働	--
0002	中小企業における賃金決定の実態に関する調査, 1995	連合総合生活開発研究所	雇用・労働	--
0003	若年労働者のキャリアと学習歴に関する調査, 1995	連合総合生活開発研究所	教育・学習 雇用・労働	--
0004	小学生・中学生の生活に関するアンケート調査, 1995	連合総合生活開発研究所	社会・文化 教育・学習	--
0005	ボランティア活動についてのアンケート調査, 1995	連合総合生活開発研究所	社会・文化 安全・犯罪・災害	--
0006	勤続5年以上の女性労働者のキャリア形成と人事処遇の運用実態に関する調査, 1995	連合総合生活開発研究所	雇用・労働	--

メタデータ

概要	
調査番号	0001
調査名	新規学卒者（中卒）労働市場調査，1953
寄託者	東京大学社会科学研究所
利用申込先・承認手続き	利用方法の詳細は こちら SSJDAが利用申請を承認したときに利用できる
教育目的(授業など)の利用	研究のみ
利用期限	一年間
データ提供方法	ダウンロード
メタデータ閲覧・オンライン分析システムNesstar	利用不可
調査の概要	新制中学校卒業生と日本の産業の現在および将来がいかにかわり合うかという問題を、「一國の資本の蓄積量」と「方向」、産業と学校・技能教育の関係、社会階層の特殊な生活水準と生活慣習、とくに農民層の分解、「家事労働の職業労働化」、「未就業失業問題と低賃金産業問題」＝「産業予備軍の存在形態」の諸観点から分析し、産業別・規模別・地域別労働市場の類型化をおこなう。 調査の結論は次のとおりである。神奈川県中卒(男子)労働力の市場は、3階層・5地域——A. 最上層＝「全県をおおう京浜地区労働市場」。B. 第2階層＝「横須賀地区」，「湘南諸都市を中心とする中部地区」，小田原市を中心とする「西部地区」。C. 最下層＝高座・愛甲・津久井郡にまたがる「農村地区」——からなる構造をもっており、労働移動は、各地域市場間では主として3階層間で——C→A，B→Aという「直接型」と、C→B→Aという「連鎖型」の2型をとって——おこなわれる。こうした「労働移動の契機」になるのは、賃金に集中的に表現される労働条件の相対的格差であって、その背景に、地域別の産業構造、企業規模別構造の相異がある。女子中卒者の労働市場は、「地域的封鎖性」が大きく、京浜地区労働市場も全県をおおうものになっていない点で男子のそれと異なる。また、いずれの地域でも女子の初任給は男子より低く、地域別格差は男子より大きく、分散もまた大きい。
調査対象	神奈川県公立中学校1953年3月卒業生全員（188校男約20,000名，女約19,000名）
調査対象の単位	個人,組織
サンプルサイズ	「調査対象」参照
調査時点	1953/07/01
調査地域	神奈川県
標本抽出	
調査方法	神奈川県および神奈川県教育委員会の名で各学校に調査票（甲・乙・丙・丁）を配布し、学校ごとに就職指導教員に記入を依頼(1953年10月31日)し、11月30日に回収した。さらに「個人別調査票」をもって、若干の地域で、生徒の自宅を訪問し、面接、記入した。
調査実施者	労働問題調査研究会(大河内一男，氏原正治郎，江口英一，関谷耕一，高梨昌)
委託者(経費)	文部省科学研究費，神奈川県企画審議室専門委員調査費
寄託時の関連報告書・関連論文	神奈川県編，氏原正治郎・江口英一・高梨昌・関谷耕一稿『労働力需給調査報告書』（神奈川県，1955年3月，418頁，非売品） 大河内一男・氏原正治郎編，江口英一・氏原正治郎・高梨昌・関谷耕一稿『労働市場の研究——中学校卒業生の就職問題』（1955年9月，東京大学出版会，411頁） 神奈川県企画審議課編『昭和28年新規中学校卒業者の就職状況調査(集計結果表抜萃)』（1954年2月，非売品） 氏原正治郎・中西洋稿「神奈川県における新規学卒者労働市場の変貌」（『社会科学研究』14巻3・4合併号，1962年12月所収） 中西洋稿「『労働市場の研究』について」（『社会科学研究』第22巻5・6合併号，1971年）
SSJDAデータ貸出による二次成果物	二次成果物一覧は こちら
調査票・コードブック・集計表など	[調査票]
主要調査事項	出身地域，生家の職業，進学就職状況，就職先(産業・規模・地域・労働条件) など
公開年月日	1998/04/01

調査票

調査票

調査番号 0001

調査名 新規学卒者(中卒)労働市場調査, 1953

新規学卒者に関する調査票（甲票）

神奈川県・神奈川県教育委員会

学校名 校長名 記入責任者名

1. この学校の昭和27年度卒業生（昭和28年3月卒業の者）について7月1日現在の状況を記入して下さい。

	(1) 卒業生数	(2) 就職せず進学したもの (通常課程) 注1	(3) 就職しながら進学したもの (定時制高校) 注2	(4) 就職したもの (3)に該当するものを除く)	(5) 就職せず自家に止まって家業の手伝いや家事などをしながら進んでいるもの	(6) 就職も進学もせず、自家に止まって家業の手伝いや家事などをして進んでいるもの	(7) その他
男							
女							
計							

2. この学校の学区の特徴を職業的・産業的・地域的見地から具体的に書いて下さい。なお一般的にいつて生活状態は上なのか下なのか等を書いて下さい。
3. この学校が就職問題についてとって来た方針やその成果及び将来考えていること、その他意見や希望等を具体的に書いて下さい。なお保護者、PTAと求人側（職安を含む）との連絡、職業指導などについても問題があれば書いて下さい。

※なお就職問題の資料及びこの学校や学区の概要を知るための資料となるものがあれば大小を問わず添付して下さい。

〔編者注〕この票の注は、「新規学卒者の卒業後の動向調査要綱」の、同一ナンバーの項に示されている。乙票丙票とも同じ。

集計表

《留置集計表A》

東京大学社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センターSSJデータアーカイブ

■ 調査番号 0764

■ 調査名 2005年SSM日本調査, 2005

※ 本集計表を引用する際には出典を明記して下さい。

留置 A 票

問1 あなたは、次のような不公平が今の日本社会にあると思いますか。

ア) 性別による不公平

	ケース数	%	累積%
1 大いにある	170	6.0	6.0
2 ある	1402	49.6	55.6
3 あまりない	856	30.3	85.9
4 ない	259	9.2	95.0
9 DK,NA	140	5.0	100.0
合計	2827	100.0	

イ) 年齢による不公平

	ケース数	%	累積%
1 大いにある	243	8.6	8.6
2 ある	1387	49.1	57.7
3 あまりない	831	29.4	87.1
4 ない	223	7.9	94.9
9 DK,NA	143	5.1	100.0
合計	2827	100.0	

ウ) 学歴による不公平

	ケース数	%	累積%
1 大いにある	424	15.0	15.0
2 ある	1613	57.1	72.1
3 あまりない	536	19.0	91.0
4 ない	139	4.9	95.9
9 DK,NA	115	4.1	100.0
合計	2827	100.0	

二次分析の成果

- 成果物一覧 -				
成果物名(タイトル)	著者名	雑誌名・書籍名・出版社名など	発表年月	利用調査番号
二重負担を受容する有配偶女性の意識の決定要因：全国調査SSP2015を用いた資源の影響の検証	樋口麻里	北海道大学文学研究院紀要	2020/03	0763 0764
大学進学における地域間格差と資金プレミアム—大学収容率の地域間格差に注目して—	赤木邦江, 江刺紀理, 田中喜行, 勇上和史	経済政策ジャーナル 第16巻第1号 (通巻第81号)	2019/09	0763 0764
女性の結婚による離職のコホート分析	田中西	社会学年報(48)	2019/08	0763 0764
The Mechanism of Generational Reproduction in Japan Mediated by the Major Taken During Secondary Education: An analysis of class mobility using conditional multinomial logistic regression	Masahiro Narisawa	ICAS11	2019/07	0763 0764
Intergenerational income mobility and health: A quasi-experimental approach	Shohei Okamoto, Mauricio Avendano, Ichiro Kawachi	Social Science & Medicine	2019/04	0500 0550 0600 0800 0760 0761 0762 0763 0764 0850 1000
学校外教育投資に対する母親の団体加入—ダブルハードルモデルを用いた分析—	米田佑	先端教育研究実践センター年報 第19号	2019/03	0764
岐路に立つ自営業——専門職の拡大と行方	仲修平	勁草書房	2018/11	0200 0500 0550 0600 0800 0759 0760 0761 0762 0763 0764 0850 1000
世代間における子供の所得水準を決定する要因：マルチレベル・モデルでの実証分析	細井雅代	追手門経済論集, 53(1)	2018/09	0764
男女の職業分離の要因と結果	山口一男	『働き方の男女不平等』日本経済出版社	2017/08	0763 0764

利用者ログイン

[English](#)

東京大学社会科学研究所
附属社会調査・データアーカイブ研究センター

ログイン

[ご利用マニュアル](#)

お知らせ

- ※SSJDA Directでは、2020年7月30日（木）から2020年8月19日（水）までデータ利用申請受付を停止します。
- ※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、キャンパスにおける活動が制限されております。それにともなって、各種手続き等について通常よりも対応に日数が掛かりますことをご了承ください。活動制限が緩和されましたら順次対応いたします。なお、郵送によるデータ提供はしばらく控えさせていただきます。ご不便をお掛けしますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。
- ※郵送によるデータの提供方法が2019年4月より変わります。詳細は[こちら](#)
- ※PM060, PM070, PY060, PY070のデータについて、追加サンプルの結婚に関する一部の設問への回答（DQ46～DQ49_2Z）に修正がありました。
- ※「家族についての全国調査(NFRJ)」データについて、教育目的（授業・卒論等）での利用が可能になりました。
- ※2016年3月から、学部学生のデータ利用はすべて教員による教育目的申請でこなうようルールが変わりました。
- ※ダウンロード期限は、ダウンロード提供日より30日間です。なお、ダウンロード期間が過ぎた場合は、再度利用申請を行ってください。
- ※教育目的でご利用の場合、データの利用期限は1年間です。受講者リストは「[データの利用申請](#)」から入手できます。
- ※何かご不明な点がございましたら、ssjda-direct@iss.u-tokyo.ac.jp までご連絡ください。

◆ すでにIDをお持ちの方はこちらからログインをしてください

ID(メールアドレス):

パスワード:

[ログイン](#)

[* パスワードを忘れた方はこちらから](#)

◆ IDをお持ちでない方はこちらから新規登録をしてください

[新規登録](#)

マイページ

マイページ

三輪哲さん

利用者情報変更

パスワード変更

利用申請

成果物登録

成果物検索

ログアウト

ご利用マニュアル

- 承認待ち情報 -

承認待ち件数 : 0 件

- * 申請番号をクリックしますと、利用申請情報詳細へ遷移します
- * 利用報告は利用申請情報詳細からお願いたします

利用申請履歴一覧

受講者登録申請一覧

<< < 1 2 3 4 5 6 7 > >> 全83件

申請番号	申請日	目的	調査名	ステータス	ダウンロード	利用報告期限
20898	2019/09/19	教育	現代核家族調査, 2008	完了	ダウンロード	報告済み
20897	2019/09/19	教育	現代核家族調査, 1999	完了	ダウンロード	報告済み
20708	2019/09/02	教育	東大社研・若年パネル調査 (JLPS-Y) Wave1 基本データ, 2007	完了	ダウンロード	報告済み
20707	2019/09/02	教育	東大社研・若年パネル調査 (JLPS-Y) Wave1-2, 2008	完了	ダウンロード	報告済み
20706	2019/09/02	教育	東大社研・若年パネル調査 (JLPS-Y) Wave1 基本データ, 2007	完了	ダウンロード	報告済み
20632	2019/08/28	研究	第7回青少年の性行動全国調査 (JASE SSJDA版), 2011	完了	ダウンロード	報告済み
20631	2019/08/28	研究	第6回青少年の性行動全国調査 (JASE SSJDA版), 2005	完了	ダウンロード	報告済み
20630	2019/08/28	研究	第5回青少年の性行動全国調査 (JASE SSJDA版), 1999	完了	ダウンロード	報告済み
20629	2019/08/28	研究	第4回青少年の性行動全国調査 (JASE SSJDA版), 1993	完了	ダウンロード	報告済み
20628	2019/08/28	研究	第3回青少年の性行動全国調査 (JASE SSJDA版), 1987	完了	ダウンロード	報告済み

*ステータスが「返信封筒未到着」となっている件については、データを転送しますので、データ送付用の返信用封筒（レターバックプラス）を至急SSJDAまでお送りください

<< < 1 2 3 4 5 6 7 > >> 全83件

* 詳細ボタンをクリックしますと、成果物詳細へ遷移します

<< < 1 2 > >> 全17件

- 成果物一覧 -			
登録日	著者名	タイトル	
2020/07/20	三輪哲	中年単身層における生活様式と意識にみられるジェンダー差	詳細
2020/06/17	藤田比奈子	「やさしい関係」と親しい友人	詳細
2020/06/17	萩原聖名子	若年未婚成人子の親同居を規定する要因とその特徴	詳細
2019/03/01	喜田真由子	進路指導の効果に関する実証研究	詳細
2017/04/07	三輪哲・下瀬川陽	戦後日本における高等教育中退への出身階層の影響	詳細

リモート集計 (Nesstar)

The screenshot displays the SSJDA (Social Science Japan Data Archive) interface. The left sidebar shows a tree view of datasets, with 'SSJDA Japanese' expanded to show '社会とのかかわりと日ごろの生活に関するアンケート, 2013'. The main panel shows the 'DESCRIPTION' tab for 'Variable q2: 治療・療養のための通院'. It includes a table of values and categories, a summary statistics section, and a list of related variables.

SSJDA
Social Science Japan Data Archive

Dataset: 社会とのかかわりと日ごろの生活に関するアンケート, 2013

Variable q2: 治療・療養のための通院

Values	Categories	N	
1	通っている	1487	41.1%
2	通っていない	2022	55.8%
3	こたえたくない	113	3.1%

SUMMARY STATISTICS

Valid cases 3622
Missing cases 0
This variable is numeric

Related Variables:

- 健康状態
- 治療・療養のための通院
- ふだんの外出頻度
- 夜9時以降の外出
- 朝6時～9時の起床
- 部屋の掃除や片づけ
- 気持ちが落ち込んで何もしたくないときがあるか
- 急にイライラしたり怒りがこみあげてくることがあるか
- 心から楽しむことができる趣味や関心事があるか
- 心から楽しむことができる趣味や関心事: スポーツ (観戦も含む)・運動・アウトドア等
- 心から楽しむことができる趣味や関心事: 旅行・乗り物での移動・ドライブ

DDI対応メタデータ・OAI-PMHの実装

＞ DDI対応メタデータ

- 現行のメタデータとJSPSのDDIメタデータの対応関係を整理している。
- 調査ごとにメタデータに作業を実施する必要があるため、その作業準備をすすめている。

＞ OAI-PMH

- ハーベスティングが可能となるように、OAI-PMHをSSJDA Directに実装するための調査を実施中。現在、実装に向けた改修をおこなっている。
- リクエストに対して、DDI準拠、Dublin Core準拠のメタデータを返すことができるように実装を予定している。

その他のシステムにかんする強化プラン

＞ リモート集計システム

- 独自のリモート集計システムの開発をおこなっている
- 現行のシステムでは実行不可能な、データのハンドリング（変数の計算、変数の変換）、標準的な解析機能（ロジスティック回帰分析、プロビットモデル）の搭載を目標
- 学部生の利用を念頭に、スマートフォン対応、ユーザーフレンドリーな操作性と出力提示の実現

＞ EDO

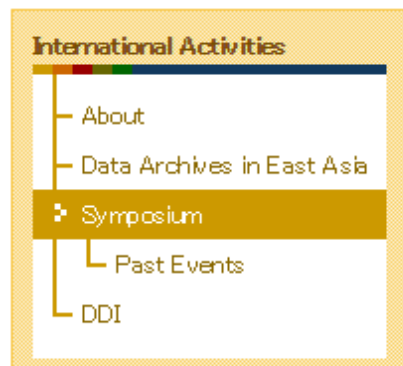
- 近い将来にリリースされる、DDI4.0への対応
- 調査プロジェクトや、教育（調査実習）での利用可能性を模索
- SSJDA Directとの接続、あるいはウェブアプリ化

メタデータの英訳状況（2019年11月7日現在）

現在公開中の全1386データセット中：

- › すでに英訳が反映されている：**270**件（19.5%）
- › 英訳・チェック済みで今後反映可能：**200**件（14.4%）
- › 現在英訳依頼中、年度内に納品：**176**件（12.7%）
- › 下訳はあるが未反映：**139**件（10.0%）
- › 来年度以後に英訳：**601**件（43.4%）

国際データアーカイブワークショップの情報



Symposium / International Workshop

 The 2019 Meeting of the Network of Asian Social Data Archives [25 January (Fri)– 26 January (Sat), 2019]

Sponsor and Host:

Center for Social Research and Data Archives
Institute of Social Science, University of Tokyo, Japan

Venue:

Center conference room 549, Akamon General Research Building, University of Tokyo(Hongo Campus) [MAP](#)

Language: English

Program: ([Poster](#))

[Day1]

Friday January 25th, 16:00–17:30

Title: Data Repository Assessment and Certification: Experiences and Lessons Learned

Speaker: Jared Lyle (ICPSR, University of Michigan)

abstract:

The Inter-university Consortium for Political and Social Research (ICPSR) has participated in several repository audits and certifications. In 2006, it was a test case for Trusted Repositories Audit & Certification (TRAC, now ISO 16363). ICPSR was one of the first six data repositories to earn the Data Seal of Approval (DSA) in 2011. ICPSR earned the World Data System (WDS) certification in 2013. More recently, ICPSR completed and submitted an application for the CoreTrustSeal Data Repository certification, which replaces the DSA and WDS certifications.

The presentation discusses ICPSR's experiences and lessons learned from completing self-assessments and formal certifications.

[Day2]

Saturday January 26th, 10:00–11:30

Title: The Dataverse Project: Open-Source Software to Share, Cite, and Find Data

Speaker: Elizabeth Hess (The Institute for Quantitative Social Science, Harvard University)

東アジアのデータアーカイブの情報

Introductions of Data Archives in East Asia

[SRDA \(Survey Research Data Archive\) – Social data archive of Taiwan](#)
[KOSSDA \(Korea Social Science Data Archive\)](#)

SRDA (Survey Research Data Archive) – Social data archive of Taiwan

SRDA is a data archive that collects and disseminates microdata on social and statistical survey research, and is a division Research Center for Humanities and Social Sciences (RCHSS), Academia Sinica in Taiwan. Academia Sinica consists of 24 research institutions and 7 centers; among those, RCHSS is currently Academia Sinica's only research center in the social science and humanities disciplines. It aims to foster research which is multi-disciplinary in nature, and is too difficult to conduct in other single-discipline institutes in Academia Sinica. RCHSS consists of five specific-topic research centers, one of which is the Center for Survey Research (CSR), and SRDA is a part of CSR.



Photo: RCHSS

SRDA was founded in 1994, and engages in the systematic acquisition, organization, and preservation of academic survey data and its dissemination to scholars for academic purposes. Long-term preservation of survey datasets is one of the responsibilities of the organization. Its data stock is considered to be one of the largest in scale/quantity in East Asia, and it covers academic areas such as sociology, economics, politics, pedagogy, business, public health, sports, and artistic studies

KOSSDA (Korea Social Science Data Archive)

Korea Social Science Data Archive (KOSSDA) is one of the most notable institutions for data archives in South Korea, and it leads in the country in collecting datasets and promoting their secondary usage. KOSSDA was founded in 2006 with the aim of acquisition, preservation, and dissemination of Korean social science data and reference materials.

Since June 2015, KOSSDA has been managed under the Asia Center at the University of Seoul, in order to maximize the synergy of education and research and to develop the organization into a major international data archive institute.



Available Datasets

KOSSDA retains and offers around 2,500 datasets that cover various fields such as politics, economics, sociology, psychology, cultural study, and social science.

Research data: about 2,300 datasets, including those from KGSS (Korean General Social Survey) and Korean Labor and Income Panel Study.

Qualitative research data: approximately 200 qualitative data materials in different formats such as texts, voice, video, and images, which come from research on local communities, political and social movements, poverty, siblings, and migrant laborers abroad.

CSRDAの課題と展望

- › ユーザビリティの向上と適切な利用の促進
- › 寄託のメリットを増進させる工夫
- › 社研パネル調査シリーズの継続と成果創出
- › 二次分析研究会の質の向上と（計量セミナーを含む）サポート体制の強化
- › データアーカイブの国際ネットワーク構築
- › 「持続可能な組織」のための人的・経済的基盤の確保